

応用情報技術者 試験対策テキスト I 【ベーステクノロジー編】

Ver.5.1 訂正表

下記の通り訂正がございます。

ご迷惑をおかけして、誠に申し訳ございません。

■9 ページ 4行目 (表 1.2 下解説文 2行目)

(誤)浮動小数点演算において、表現する値

(正)浮動小数点演算において、表現する値

■13 ページ 1行目

(誤)集合 $X = \{1, 2, 3, 4, 5\}$, 集合 $Y = \{1, 3, 5, 7, 9\}$

(正)集合 $A = \{1, 2, 3, 4, 5\}$, 集合 $B = \{1, 3, 5, 7, 9\}$

■17 ページ 4行目

(誤)局所 \wedge 変数

(正)局所変数

■24 ページ 参考：その他の行列関連用語 1行目

(誤) A との積を取ると単位行列が得られる行列を A の逆行列といい、 A^{-1} のように表す。

(正) A との積を取ると単位行列が得られる行列を A の逆行列といい、 A^{-1} のように表す。

■26 ページ 下から 2行目

(誤)ビット $\underline{を}$ を割り当てる。

(正)ビット $\underline{を}$ を割り当てる。

■27 ページ 最終行

(誤)160k ビット=20 バイトとなる。

(正)160k ビット=20k バイトとなる。

■29 ページ 2行目後半

(誤)JavaScript は、HTML ファイル内に

(正)JavaScript は、HTML ファイル内に

■29 ページ (2) マークアップ言語 ●HTML 解説下から2行目

(誤) Web ページがスタイルシートをスタイルシートを適用することが一般的である

(正) Web ページがスタイルシートを適用することが一般的である

■31 ページ エキスパートシステム 解説最終行

(誤) 導出原理によって結論を待る論理型プログラミングパラダイム

(正) 導出原理によって結論を**得る**論理型プログラミングパラダイム

■31 ページ ニューラルネットワークの解説最終行

(誤) という

(正) という**処理が行われる。**

■31 ページ ディープラーニングの解説4行目

(誤) より高度な分類や判断が可能を行う。

(正) より高度な分類や判断が可能**となる。**

■35 ページ ●線形リスト 解説文の前に下記項目を追加

(追加) (a) 線形リストの基礎

■112 ページ ●SAN

(誤) SAN(Strage Area Network)

(正) SAN(St**o**rage Area Network)

■152 ページ 表 4.16 クラウドのサービスモデル PaaS 概要欄 1行目

(誤) プラットフォームををサービスとし

(正) プラットフォームを**を**サービスとし